

## 第 133 回 (2024 年 6 月度) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一  
(文責：松下 洋二)

1. 開催日時 2024 年 6 月 10 日(月) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催方法・場所 会場 (文京ソビックセンター3 階会議室②)  
講師は会場より解説  
司会 (委員長) は会場で進行  
委員は会場で会議サポート
3. テーマ ISO Guide51 に基づく「安全のつくり方と安全の伝え方」  
～企業と品質に求められる「安全・信頼・安心」についての対応～
4. 講師 機械安全標準化特別委員会 ISO/TC199 部会委員 (機械安全)  
一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 代表理事 中嶋 洋介氏
5. 出席者 43 名 (会場参加 13 名、オンライン参加 30 名)
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールでオンライン参加案内とともに添付ファイルを送付)  
・ 第 133 回監査技術ゼミ「ISO/IEC Guide51 の安全のつくり方とリスクの伝え方「安全文化」を支える「安全・信頼・安心」」中嶋 洋介  
なお、当日講師から以下の資料が追加され、後日、出席会員会友にメールで送付。  
・ 「安全文化」と「安全・信頼・安心」  
・ (参考) 自動車の国交省 WP24 加入による認証制度と 2024 年トヨタほかの不正と主張
7. 議事次第
  - ・ 運営委員長より開会の挨拶  
豊島運営委員長よりオンライン参加者の ZOOM 接続状況を確認したのち、開会挨拶、監査技術ゼミの趣旨説明および本日のテーマ紹介を行い、講師の中嶋洋介氏を紹介された。  
なお出席者の内、当委員会への初参加者は以下の通り。  
(株)弘電社 取締役監査等委員 永嶋 靖史氏
  - ・ 講義  
午後 2 時 8 分から、中嶋講師により、資料内第 1 部「企業内での「安全」の扱われ方」について 2 時 55 分まで解説が行われた。10 分間の休憩をはさみ、3 時 5 分から、資料内第 2 部「ISO 規格と安全規格」、第 3 部「安全規格におけるリスクの伝え方、安全の伝え方」第 4 部「安全文化」と「安全・信頼・安心」について 4 時 38 分まで解説が行われた。その後直ちに出席会員会友とディスカッションを行い、4 時 53 分に終了した。

- ・ ディスカッション等

出席会員会友とのディスカッションの主な論点は以下の通り。

- ・ 第4部の論点は重要で、消費者は安心と信じ込んでいてリスクを想定できない。今後、誰がどのような努力をすべきなのか。
- ・ ISO 品質認証取得の意義や意味を担当部署以外に理解してもらうことが難しいのが現実。ISO 品質認証を取得する意義や意味について、経営陣や従業員が理解を深めるにはどうしたらよいか。監査役はどこをチェックしたらよいのか。

- ・ 委員長より閉会の挨拶

ディスカッションの後、豊島運営委員長が講師に感謝の意を表され、参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行うとともに、次回の監査技術ゼミは7月4日(木)に開催予定の旨案内した後、午後4時56分に閉会となった。

以上